※令和３年度以前入学生用

学校番号	１０１７

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「コミュニケーション技術」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、コミュニケーションの意義や目的、方法について、座学だけではなくグループワークを通して学んでいきます。
・また、援助を必要とする高齢者や障がい者の身体的・心理的特徴について理解を深め、車椅子やアイマスクを使っての実習、高齢者施設でのレクリエーションの企画や運営も行います。さまざまな人たちとの関わりの中で、自分に気づき、コミュニケーション能力を磨いてほしいと思います。

２　学習の到達目標

１．コミュニケーションに関する基本的な知識と技術を習得する。
２．高齢者や障がい者などに関する基礎的な知識、関わり方を習得し、対人援助活動の中で実践する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コミュニケーションについて関心をもち、コミュニケーションに関する知識と技術の習得に意欲的に取り組むとともに、対人援助場面において活用できる実践的な態度を身につけている。	コミュニケーションについての対人援助活動の展開の中での諸問題の解決を目指して思考を深め、チームの一員として適切に判断し、表現する能力を身につけている。	高齢者や障がい者に関する対人援助の基礎的・基本的な技術を身につけ、対人援助場面において適切に実践することができる。	高齢者や障がい者に関する対人援助の基礎的・基本的な知識を身につけ、対人援助の意義と役割について理解している。
評価方法	学習状況 授業参加度 グループワーク 課題等、ノート提出 レポート・発表	学習状況 授業参加度 グループワーク 課題等、ノート提出 定期考査 レポート・発表	学習状況 授業参加度 グループワーク 課題等、ノート提出 実技テスト 定期考査 自己評価 レポート・発表	学習状況 授業参加度 課題等、ノート提出 小テスト 定期考査 レポート・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	介護のおけるコミュニケーション	コミュニケーションの意義と役割 ・人間の理解と人間関係 ・コミュニケーションとは コミュニケーションの基本技術 ・言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション ・受容と共感 ・対人関係におけるコミュニケーションの実際 ・援助の技法とコミュニケーション	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:コミュニケーションについて関心を持ち、対人援助場面において実践できる態度を身につけている。 b：コミュニケーションについて対人援助場面において諸問題の解決に向けて、適切に判断し表現することができる。 c:個人や集団を対象としたコミュニケーションを対人援助場面において実践することができる。 d:個人や集団を対象としたコミュニケーションの意義と役割について理解している。	学習状況 授業参加度 グループワーク 課題 ノート提出 定期考査 レポート 発表
2	サービス利用者や家族とのコミュニケーション	サービス利用者に応じたコミュニケショーン ・高齢者とのコミュニケーション ・視覚障がいのある人とのコミュニケーション ・聴覚障がいのある人とのコミュニケーション ・言語障がいのある人とのコミュニケーション ・運動機能障がいのある人とのコミュニケーション ・認知症の人とのコミュニケーション	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:　高齢者や障がい者との関わりの中で、尊厳を守りながら接する姿勢や態度、意欲がみられる。 b:　高齢者や障がい者が抱える諸問題に寄り添い、解決に向けたアプローチを展開することができる。 c:高齢者や障がい者に関する基礎的・基本的な技術を習得し、対人援助場面において実践することができる。 d:高齢者や障がい者に関する身体的・心理的特徴ついて正しく理解し、知識を身につけている。	学習状況 授業参加度 グループワーク 課題 ノート提出 実技テスト 定期考査 自己評価 レポート 発表

※令和３年度以前入学生用

3	介護におけるチームコミュニケーション湯にケーション	記録 ・記録の意義と目的 チームによる連携 ・チームのコミュニケーション スーパービジョンの技法 ・スーパービジョンとは ・スーパービジョンの方法	 ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a: 介護現場における、チームコミュニケーションについて関心を持ち、さまざまな専門職と連携する姿勢や態度を身につけている。 b: 介護現場におけるチームコミュニケーション方法を活用し、情報を共有することができる。 c:専門的な視点からサポートを必要とする人の課題を考え、関わることができる。 d:チームコミュニケーションの必要性について理解し、知識を身につけている。	学習状況 授業参加度 グループワーク 課題 ノート提出 小テスト 定期考査 レポート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。